

2015  
12月  
第58号

かい 海 公民館報 よう 陽



宍喰共楽運動会の様子

# 「人権力」ですみよい町に！ 分館巡回人権学習会をふりかえって①

社会教育指導員 佐藤和久

本年度の分館巡回人権学習会は、10月中旬から11月中旬にかけて行われました。子どもからお年寄りまで、全会場合わせると370名を超える方に参加していただきありがとうございました。

## 大人社会のいじめとは

今年のテーマは「なくそう！大人社会のいじめ」でした。いじめ問題は、子どもだけの問題でなく大人社会にもたくさんあります。大人社会のいじめについて意識を向け、みんなで解決していこうとする姿勢はこれから絶対に必要です。また、「子どもは大人社会の鏡である」と言われるように、大人社会のいじめ問題を解決すれば、自ずと子どものいじめ問題も解決されるといっても全ての大人は認識しておかなければなりません。

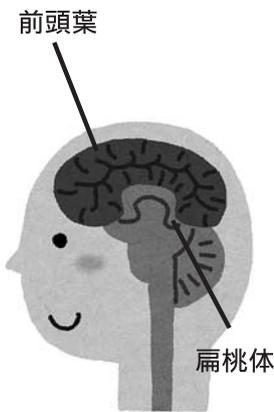
学習会で取り上げた内容を中心に、振り返ってみます。

大人社会の中には人権侵害と考えられる問題がたくさんあります。例えば、児童虐待・高齢者虐待・障がい者虐待・パワーハラスメント・セクシャルハラスメント・モラルハラスメント等々。これらは広い意味での大人の内いじめと考えられます。児童虐待は親から子へのいじめであり、パワーハラスメントは上司から部下へのいじめです。どれもいじめの主体は大人です。児童虐待の相談件数は、昨年度9万件に迫ろうとしています。高齢者虐待や様々なハラスメントも増加の一途をたどっています。

## いじめはなぜ起こるのか (脳の働きの視点から)

大人・子どもを問わず、いじめがなぜ起こるのか、脳の働きから考えてみます。脳の中で、怒り・悲しみ・喜びなどの情動を司っているのが扁桃体です。

そして、発生した情動をコントロールしているのが前頭葉であると言われていました。解剖学者である養老孟司氏の言葉を借りれば、扁桃体がアクセル、前頭葉がブレーキということですが、扁桃体で発生した怒りやイライラなどにブレーキをかけるのが前頭葉なのです。前頭葉がよく働けば、こんなことをすれば相手がいやがる、悲しい思いをすると察知しブレーキがかかるのです。この扁桃体や前頭葉の発達には、子ども期の養育環境が大きな影響を及ぼします。



予防教育を提唱している鳴門教育大の山崎勝之氏は、子どもの暴力の発生源は親の行動にあることが多く、親が暴力的であれば子どもの行動のモデルになると言います。そして、その子はやがて自分の子に同じようなことをするとも述べています。

これらのことからすると、一般的に、養育時に虐待や継続的なストレスを受ければ、扁桃体や前頭葉がうまく働かなくなり、感情のコントロールが難しくなってくると考えられます。感情がうまくコントロールできないと、相手のことを考えない攻撃的な言動が増え、いじめや人権侵害につながっていきます。

部落差別がなかなか解決しなかったり、インターネットによる人権侵害など新たな差別問題が発生するのも、脳の中でコントロールされない「攻撃性」が大きな要因となっているように思えます。この「攻撃性」のことを理解し、社会全体でどう向き合っていくかが、いじめや差別をなくす上で重要な鍵になってくると思います。

川東公民館長 辻 芳昭

10月4日(日)川東公民館共楽運動会が、雲ひとつない青空のもと、松原町民グラウンドにて開催されました。

保育園児、小学生から高齢者まで、三世代の人たちが入場行進をし、整列後、開会式が行われました。そして、いよいよ競技の開始です。一般種目、採点種目とプログラムが進むにつれて、各分館活気があふれ、応援にも熱をおびてきました。各分館の協力で選手も集まり、スムーズに進行することができました。

運動会は地域の人が一同時に集まり、子どもから高齢者まで交流ができる場です。今後も話し合い、検討して、楽しい運動会にしていきたいと思っています。



浅川公民館長 若井 孝司

今年はお天気心配もなく気持ちのいい運動会でした。特に前週の日曜日にはグラウンドの草抜き等除草作業を多くの方のボランティアによってきれいにしてくれました。ありがとうございました。

運動会には皆さん元気よく参加していただき1日楽しんでいただけたと思います。なかでも1番はしゃいでいたのは自分かも？

来年も年に一度の運動会、おおいに盛り上げていきたいと思います。



皆、ケガせんようにしようよ



みんな元気一杯!



いかん、バランス崩した!



訓練や~



なかなか、しびとしいな!



ギョギョ



アカン 足にきた~



毎年出よるけんウマイやろ



アハハハ



よう、はつとる!

小川

小川社会教育連絡協議会 会長 坂本 榮司

去る10月4日小川共楽運動会を開催しました。幼児、小学生7名からご高齢の方々まで130名の地区民が参加され、青空の中、楽しく賑やかに親睦を計りながら無事終了することができました。参加されました方、日頃からご支援、ご協力を賜りました方々大変厚くお礼申し上げます。

振り返れば、昨年、一昨年と雨天の為グラウンド不良にて延期致しました。本年も心配しておりましたが、当日大変良い天気恵まれ、前田町長はじめ中西参議院議員、重清県議会副議長がお越しになられ地区民と共に競技に参加され大変有意義な1日となりました。

最後になりましたが小川地区も人口が減少していく中で地域の親睦を計る上で共楽運動会が最も必要です。今後共続行してゆきたいと思っております。

永遠に続く事を願って私のコメントと致します。



神野・若松

神野公民館長 富田 充宏

10月4日(日)、神野・若松地域の皆さんが一堂に会し、恒例の共楽運動会が開催され、子どもさんから御高齢の皆さんまで、和気あいの雰囲気の中で、楽しく競技やレクリエーションに取り組みました。

地域の活性化が叫ばれて久しいものがありますが、まだまだ成果となって現れておりません。従来のように行政の支援を頼りにしているだけでは、田舎は確実に疲弊していきます。私たちの地域には財源はありませんが、知恵と地域の強い絆があります。こうした地域の力を出し合い、地域住民が主体となって、豊かな人間関係の構築や住みよい地域づくりに取り組んでいかなければならないと痛感しています。そうした意味でも、今回の共楽運動会は、地域の皆さんが地域の絆を深める一つのいい機会であると感じています。今後も公民館が中心となって、様々な取り組みに挑戦していきたいと考えています。



相川

相川社会教育連絡協議会 会長 竹中 寛

古郷を出て42年、帰れば小学校、中学校はない。しかし幼なじみや地域の方々が暖かく迎えてくれました。これまで運動会には3回参加させて貰いましたが、突然、社会協議会の長という大役を仰せつかり参加が開催という立場になり途方に暮れました。

しかし、役員会の席上会長は挨拶の心配だけとの事でしたが心配でなりませんでした。

11月3日準備4日本番は早朝から役員、大勢のボランティアの方の協力で何の支障もなく、無事終了。問題は会長の挨拶のみでした。

後日反省会では各地域でも同じと思いますが参加者の減少と高齢化が問題となりました。

前田町長をはじめ各種対策会議で対応している様ですが、すぐには解消しないと思います。

そこで私はこう考えます。

共楽運動会は、各地域の者が年に一度顔を合わす大きな祭りです。できるだけ大勢の人が参加し、"ワシはまだ元気やで！""おっさん、おばさん、ワシも元気やで来年も又来いや"と言える運動会にすべきと思います。その時には問題もたくさんありますが、皆で前進しましょう。

役員、ボランティア、地域の皆さん本当にありがとうございました。



平井

平井社会教育連絡協議会 会長 池下 嘉郎

今町内では少子高齢化が一段と進み、そうした中で我々平井地域では更に進行しているのが現状であります。

林業が盛んであった昭和30年代当初は570人程いた住民が現在では1割に、平均年齢が70才以上で20代以下が1人もいない非常に厳しい状態であります。全盛期の頃は子供達も多く250人余りが参加し対抗種目も多く白熱した運動会であったことを思い出します。

今年の運動会は1週間前から高齢者クラブの皆さんがグラウンドを整備して下さり、3日前には15人程でラインを引いたり使用する物の点検補修をし、大会当日は8時から準備し、高齢者の交通手段が厳しいので定期バスに合わせて10時に開会。地域外に行っている方も孫さんを連れて参加して下さい40人足らずであったが全員が全種目に参加出場し楽しくわきあいあいと昼食を挟んで2時半頃全日程を終了しました。

こうした催し事は皆で協力し助け合って頑張ることが大切であることを痛感させられました。





がんばりな〜

よいしょ!

副大会長 中張 雅弘

平成27年度の共楽運動会を皆様のおかげで無事に楽しく競技を終えることができました。また来年ももっと多くの人の参加をお願いします。



海部公民館



それっ



どこや〜



つかまっとなつてよ



みんな、速い速い!



釣れたけど中身何やろ?



手がつかえんのは大変!



余裕! 余裕!



落とさんように、送らな〜



ジャンケンチヨキ!

穴喰公民館長 谷 年子

当日は晴天にも恵まれ、多くの方に参加していただき盛大に開催することができました。これもひとえに、開催にあたりご協力いただいたスタッフの皆様方のおかげであると思っております。誠にありがとうございました。

少子高齢化が進む中で、選手の確保など課題もありますが、来年度も盛大に開催できるよう尽力していきたいと思っております。

また、穴喰公民館では、健やかに、大らかにをモットーに、毎週水曜日午後1時30分から穴喰町民センター3階大ホールで「健康体操ひろば」を開催しております。どなたでも歓迎です。一緒に楽しみながら体を動かしましょう。



かごふたつやけど、なかなか入らん!



いいお天気に...ケガのないよう...



もう少し~ 踏ん張れ~



びよ~ん びよ~ん



一番かな?



ちよこ、遠かった~



1、2の3!



はいおめでとう! どうぞ!

ありがとう!



せつたいイチバンになる!

10月25日(日)～11月15日(日)までの期間、第10回海陽町文化祭が海陽町内3会場(阿波海南文化村、海部公民館、宍喰町民センター)でそれぞれ開催されました。

作品展示については、各会場とも子どもから高齢の方までたくさんの方が作品を出展されました。

期間中、町内外から大勢の方が訪れて作品を鑑賞し、芸術の秋を楽しんでいました。

# 第10回海陽町文化祭 2015

## 作品展示

— 海南会場 —

押し花、パッチワーク



写真



お茶席



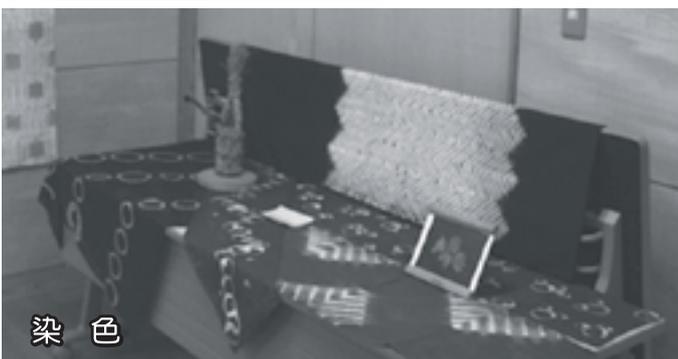
絵手紙など



海南小学校、海陽中学校作品



陶芸



染色



アートフラワー



二葉保育園作品



「海部会場」

海部西保育所作品



お茶席



海部高校作品



海部小学校作品



穴喰中学校作品



会場風景

「穴喰会場」



書道



穴喰小学校作品

# 芸能大会

—海南会場—



合唱



社交ダンス



ダンス



フラダンス



詩舞



三葉保育園



バレエ



民踊



箏



阿波おどり



太鼓



三味線



合唱



大正琴



民踊



フィリピン民踊

—穴喰会場—

**第10回  
少年野球海陽大会 兼  
第15回  
大石杯争奪海南大会**

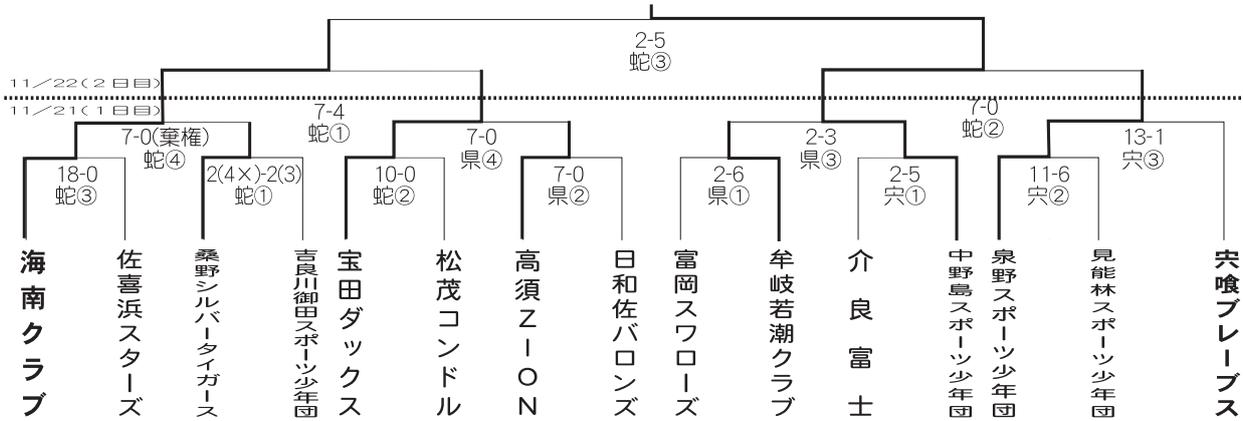
11月21日(土)・22日(日)

場所/蛇王球場・宍喰県民グラウンド  
宍喰小学校グラウンド

優勝…中野島スポーツ少年団  
準優勝…海南クラブ



準優勝した海南クラブのみなさん



# 青少年非行防止 キャンペーンパレード



10月7日(水)、海陽町青少年育成海陽町民会議主催のパレードを実施しました。毎年、宍喰小学校、宍喰中学校・保護者、地域の皆さんに参加をお願いして校区内をパレードし、子ども達の見守り活動として定着しているものです。

当日は、エンゼルパトロール隊、民生児童委員、少年を非行から守る母の会、牟岐町青少年健全育成センター、宍喰駐在所の皆さん方も参加していただきました。

# 海陽町 町制10周年（教育委員会記念行事）

## — 文化村まつり —

### 「未来に残そう!! 海陽のタカラ ～海部一族の遺産～」より



特別企画展記念講演

11月1日(日)から開催中の海陽町立博物館特別企画展「未来に残そう!! 海陽のタカラ ～海部一族の遺産～」(12月6日まで)にあわせて、とくしま文化の日の11月8日(日)に、阿波海南文化村 文化館ホールで文化村まつりを行いました。この文化村まつりは、町制10周年記念の皮切りとして海陽町立博物館を中心に、教育委員会が団結して取り組んだ行事です。当日は雨天の中、たくさんの来場者

が訪れ、最後まで一連の催しをご覧いただきました。

童謡を歌う会たんぼぼによる合唱「お山の杉の子」で幕を開け、「うさぎ」、「君知っているかい海部刀」が美しいハーモニーに乗って、会場を温かい歌声で包みました。海部刀のうた「君知っているかい海部刀」は、徳島県の民謡・民俗芸能の研究者であった<sup>ひのきえいじ</sup>檜瑛司氏の詩に、海陽町出身の作曲家である小島有利子氏が曲を付けて生まれた楽曲です。

刀剣特別説明会は、杉山正俊刀匠（徳島県無形文化財保持者）、<sup>山</sup>山昌生氏（徳島県銃砲刀剣類登録審査委員）、坂本憲一氏（同委員）に実物刀等を前に、中世以来の歴史ある本町の海部刀に関する興味深いお話を伺いました。本年88歳になられる杉山刀匠の刀剣製作への一途な想い、<sup>山</sup>山、坂本両氏の海部刀、<sup>かいふごしらえ</sup>海部拵に対する更なる評価への想いが伝わりました。

特別企画展記念講演の「戦国武将のくらしと文化～三好一族と海部氏～」では、講師にお迎えした重見高博氏（藍住町教育委員会）より、中世戦国時代に至るまでの海部氏についての歴史記録の概説に始まり、自らの手で発掘調査をされた<sup>しょうずいじょうかんあと</sup>勝瑞城館跡（国史跡）を中心に栄えた戦国三好一族の足跡について、1時間にわたりお話を伺いました。

最後は劇団レインボーによる「KAIYO★タイムトリップ」の海部刀にまつわるユーモラスな演劇で締めくくりました。お世話になりましたボランティア、関係者に御礼申し上げます。

穴喰俳句 十一月

二つ三つ屋根を転げて木の実かな 鍛冶田晟  
 秋の夜や豆電球の灯る部屋 元木栄子  
 出雲路に石路咲き並び神を待つ 広田完作  
 秋深し公民館に揺れるジャズ 川野佳代  
 舶来の松茸少し食卓に 樽井みつ子  
 草の実のこぼれしままに無人駅 間戸谷恵子  
 故郷の遠のく記憶冬はじめ 元木朱子  
 月光の中狼になりたい犬 新井駿也  
 秋深しバスに乗り込むお年寄り 長岡達江  
 人を待つ花野の花をくちもとに 山本球子  
 窓開けて木屋の香湯のなかへ 梅田千恵子  
 静かなる湖面に浮かぶ月煌々 外山千佳  
 天高し母校の正面校訓碑 寺崎照代  
 百年の家こわしけり秋の雨 阿津敏美  
 秋祭どんどごんどん強い音 前川陽斗(小室三平)  
 野菊咲く旧街道の水呑場 中岡啓泰  
 神業のごとく物失せ神無月 新井久実  
 竜胆の咲いて昔の歌うたう 陸田ヨネ子  
 鳥渡る室戸岬の先端に 木下野生

海南俳句 十一月句会より

海離れ月光の帯渚まで 橋本幸子  
 引き出しの奥の一文秋灯 廣瀬克子  
 灯火ともしびて里四五軒は芒中すすきなか 山本達平  
 朝もずや新聞・牛乳届く音 鍛冶崎郁夫  
 抽斗の薬も遺品秋の雨 谷口洋根子  
 鍵二つ掛けて眼科へいわし雲 森 浩子  
 白髪しらげの兄弟ドライブ秋木頭 叶岡陽二  
 残る虫裏口の灯はともしおく 田中たち子  
 わが家に矢を射る如く鴉カラスの声 津川須美江  
 色づいたカラスも見ている庭の柿 森口豊子  
 秋暁や車光一筋疾駆する 新居利之  
 色鳥の遊ぶ姿に見とれたり 平道はつ子  
 孫ありて余生確かむ秋の日に 岳山祐弘  
 つるぎより今年も栗の土産かな 坂本節子  
 降り立ちて名月青し無人駅 谷 律子  
 にぎやかに無患子むくひじの実を拾ひをり 武知陸子

海部ひまわり俳句

一年の色出し切りて冬紅葉 津田 一  
 山影のはや我が家まで秋夕べ 西本公明  
 陶工の心とらえし柿あか(柿右衛門) 榊原礼子  
 小春日つまや夫の手をひき旅五日 南 歌子  
 一才坊しゃんと歩きや秋うらら 松田嘉子  
 野に遊ぶスポンに草の実ついたら 元木美枝子  
 次の駅ふるさとの駅秋桜 佐藤美代子  
 八幡さん花火きれいだ山車も良い 穴戸道子  
 いわし雲小さき村の空いっぱい 岡 育代  
 秋深し待ち人来ずに暮れゆきて 川野照美  
 友見舞う行けど行けども花すすき 福田敦子  
 虎とトラノアの方舟ガレージ掃除 関山無門  
 野位牌の真新しさや秋の蠅 佐藤薦子



### 海南短歌会

野荒らしを捕らえてみれば眼のまろき豆狸なり我を見つめる 桑村 未貴子  
 晴れつづき後の月なる十三夜虫の音しるく立ちつくしたり 細野 綾子  
 ゆつくりと一日をかけて花開き居間に華やぐ赤きカトレア 蛭子 美恵子  
 季ならず梢に開く薄紅の二輪の花に秋陽のそそぐ 大久保スエ子  
 台風に倒れしままに枯れぬ木の海風吹けば葉陰も揺らす 土谷 公代

### 穴喰短歌会

海の色いつしか青み満潮のうねりも音も秋のものなる 大黒 千枝美  
 銀粉をまとふ尾花の踊り初め一日の果てをつむじ風立つ 石井 町子  
 山里は季の移ろひにかがやきて彩づく木々に親しみぞわく 山崎 千栄子  
 儂さはうす紅の薔薇のごと八重の花びらはらはら散りぬ 桑野 亀乃  
 過疎に老憂こと多き日々なれど柚子に紅葉に秋深みゆく 舩谷 恂子  
 何時からか季節流るる俣にはや山は秋色霜月に入る 三野 みよ子  
 震潮と併せ語らむ若きらに戦死の兄の従軍日誌 田井 晴代

### 文化祭網代川柳大会より

真実がかくれんぼする事件増え 高木 柳月  
 精いっぱい生きる私の持ち時間 風呂谷 いずみ  
 食通も味噌汁だけは母の味 井上 可楽  
 一通り遊びやっぱりに住む 太田 一洋  
 素通りをさせてくれない焼き鳥屋 黒岩 一平  
 この人とどこか通じるあたたかさ 中村 あかり  
 走り飛ぶ元気孫見にジジとババ 福岡 純山  
 損得のない人だから長つづき 石垣 小道



トピック

町指定有形民俗文化財

## 海 部 刀



海陽町立博物館 蔵

室町から江戸時代にかけて、ここ下灘地方では海部刀の製造が盛んに行われた。宍喰にも多くの刀工がおり、その中のひとりに海部<sup>うらべ</sup>氏次がいる。長さ38.4cm、幅4cmの脇指<sup>わきさし</sup>には「完喰住氏次」の銘がある。